

令和 3 年度第 1 回
豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会議事録

日時：令和 3 年 2 月 18 日（金）
午後 2 時～4 時 14 分
場所：豊能町役場 大会議室

○午後 2 時開会

【1】町長あいさつ

【2】委嘱状交付

【3】委員紹介

【4】会長・副会長選任

・会長に猪井委員、副会長に足立委員が選任された。

【5】諮問

【6】出席人数に基づく会の成立の確認及び傍聴承認（7 名）

【7】議事

（1）第 2 期まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について

①説明

（事務局）

・資料 1、参考資料 1 により説明

②質疑・意見

〔会長〕

・前提の確認ですが、総合まちづくり計画はすでに確定しているのか。

（事務局）

・確定している。2 月 28 日に答申の予定。

〔山田委員〕

・町への関わりは月 2 回程度。温度感が分からないところもあるので、もう少し生のデータを提供してもらえるとありがたい。

・令和 3・4 年度の人口動態にコロナの影響はあるのか。

[会長]

- ・どんなデータが必要か。

[山田委員]

- ・数字ではなく、数字を読むときに、どのくらい住民や職員へヒアリングしているのかとか。個別で言うと、子どもたちに関わる人が多いのと、女性の働き方で、子育て支援や女性の働きやすさに何が必要なのか、アンケートとかしていると思うが、総論・温度感。どれくらい個別の思いを聞いているのかといったこと。

[会長]

- ・今後の進め方だか、今日計画を決めるのではなく、意見を出してもらい、次回に向けての会だと認識している。データなどを提供して次回までに修正することは可能か。

(事務局)

- ・今日の資料はたたき案。本日の意見を反映させたものを次回の審議会で議論してもらおう。視点や施策について意見をもらえたら。データについても、提供させていただく。
- ・総合まちづくり計画を策定するにあたり、アンケートやワークショップとして地域の中へ入っていた。総合まちづくり計画に資料を掲載しているので参考にしてほしい。
- ・人口動態について、年間の出生数が増えた。それがコロナの影響かどうか分からないが、要因の一つだとは考えている。

[山田委員]

- ・データの背景を教えてもらえると、一般論ではないとも言えるかもしれない。コロナの影響ならぬか喜びできない。データが欲しいと言うより具体事例を教えてもらえたら。

(事務局)

- ・総合まちづくり計画の策定委員会（職員による会議体）で、教育・子育てのところで委員の活動、助言等で成果が出ていると報告を受けている。そういう生の声を今回の計画に取り入れていきたいので、ぜひご意見を。

[宇都宮委員]

- ・賑わいをよぶ沿道の整備。国道 423 号沿いを中心にと書かれている。すごく良いアイデアだと思うが、国道沿いを中心にとはどの程度なのか。

(事務局)

- ・総合まちづくり計画の土地利用構想（参考資料 1）においてゾーニングしている。沿道整備・産業誘致重点ゾーンを示しているが、細かいところまでは決めていない。細かいところについては、令和 4

年度以降に下位計画である「都市計画マスタープラン」で決めていくことになる。今のところは人の集まりやすい国道の沿道沿いとして考えている。

[小林委員]

- ・私自身が大阪市からの転入してきた保護者という立場。受け皿となる住宅環境整備は必須だと思うが、柱として教育の魅力化がある。ほかの自治体ではしにくいような、人との繋がりで成り立つ仕組みづくりができれば。小中一貫教育に向け学校園協議会設立準備委員会も立ち上がっているが、その中で学校の意見を聞きながら学校園所と地域をつなぐ活動をしている。
- ・ただ、予算が限られている印象を受ける。各学校園所に地域枠のような予算の仕組みがあると良いと感じている。お金をかけない企画もあるが、町内外に専門分野を持っている人はたくさんいるので、PTA を通さなくても、そういう方と学校が円滑につながる仕組みづくりができれば良いと考えている。

(事務局)

- ・参考資料 1、36・37 ページ。総合まちづくりの基本指針 1、基本施策 1 「まちの未来につながる教育の推進」、施策「地域とともにある魅力ある教育」に関わってくる「地域とともにある学校づくり」。今のご意見は、まさにこの取り組みの進め方になる。今後の施策に生かしたい。担当部局にも伝える。

[会長]

- ・先ほどの事務局の回答でも、総合まちづくり計画に掲載している。というものであった。総合まちづくり計画と総合戦略の関係が良く分からなくなってきた。総合まちづくり計画に書いてあることも総合戦略に入れ込んでいくのか。

(事務局)

- ・どういったものを総合戦略に記載していくのかは、委員の意見をもとに修正していく。

[会長]

- ・今日は様々な意見をもらって、入れる、入れないは事務局が斟酌して次回に示されるということにする。

[谷川委員]

- ・観光のワードが出てくる。町として、どこをどう観光として見ているのか明確にできれば。町としてのコンセプトを聞かせてほしい。R423 沿いにショップやレストランと言うのはすごく良いことだが、基本は車で訪問者になる。電車で行けない。交通網の解決はどうするのか。妙見口でもコロナ禍で電車より車の人が多いが、できれば電車に乗って、大阪最北端の駅として売り出しているの、そこを観光と周辺の移住者に向けてPRしてほしい。能勢電鉄の乗降者数を増やしながら活性化できれば。

[会長]

- ・コンセプトをどう考えるのか。誰かが打ち出さないといけないので、町が打ち出してほしいという意見だと思うが。

(事務局)

- ・基本目標3「地域の資源をしごととお金にかえる」があるが、ここに観光やしごとづくりによる昼間人口の増加と地域経済を実現するという項目がある。観光を一つのコンセプトにして、能勢電などを利用して交流人口を増やして行って、豊能町に人とお金を落としてもらえよう、循環させていくということの観点について、もう少し検討させてもらおう。

[山口委員]

- ・東地区で事業をしている。電車のある地域に憧れをもっている。商売している以上、人が来て買ってもらわないといけない。ただ単に通り過ぎるだけのR423が、いろいろな店もでき、止まる人も増えてきているが、車でしか移動できないエリア。豊能町はあつという間に通り過ぎてしまう距離しかないところ。国道から少し入ると、立ち寄りにくいと感じていた。R423の賑わいにはすごく期待したい。いかに止まってもらうか。サイクリングでは物を買ってもらうのは難しい。ただ単に店を作るだけではなく、車を止めやすい場所が必要だと思う。

[長澤委員]

- ・基本目標3農業の部分で、KPIで新規就農者数というのは分かりやすいし現実的だが、その基礎にある部分。観光農園などは比較的に入ってこれるが、仕事として農業に入ってくるのはハードルが高い。農地法の関係で農業人でないと業はできない。就農支援塾の卒業生は農業をしても良いことになっている。豊能町で農業をしたいという人、ベースの部分を増やす取り組みが非常に重要。

[出口委員]

- ・町全体で考えると公共交通機関とマイカー、バイク等も含めた選択肢が増えるということで町全体が盛り上がる必要がある。北急の延伸もある。公共交通機関を使って、新大阪や伊丹空港など日本全国に移動できるということがまちづくりの価値の高まりになっていくことに期待している。
- ・東西間移動が課題なので、そこをどう解消するかで、まち全体の利便性を向上させて住みやすいまちになることを考えていかないといけない。

[山田委員]

- ・データのセグメントなどがゆるい。具体化と成功率を上げるために、データの分析などを検討してほしい。

[会長]

- ・今日は金融関係の辻委員が欠席だが、私は能勢町の総合計画審議会にも関わっている。そこでの発言

を聞いていると、箕面止々呂美インターができて企業用地を探している人が増えているようだ。ただ、現状の土地利用としては場所がない。その上で総合まちづくり計画を見ていると、人が増えない理由として仕事がないから。町長もあいさつで企業誘致を言われていた。総合まちづくり計画では仕事づくり、沿道整備がある。総合戦略での沿道整備は観光の面が強いが、総合まちづくり計画では仕事づくりという感じで書かれている。

- ・私としては、総合まちづくり計画の方がしっくりくると思う。賑わいをよぶ沿道、R423は新名神につながっているのだから、そこから日本全国に出られるのは強みで企業には魅力になっていると思う。そのあたりはもう少し書いてもいいのではないかと、皆さんの意見を聞いていて思った。

[川村委員]

- ・住宅街の西地区と希望ヶ丘が市街化区域。それ以外が市街化調整区域になっている。開発を抑制していく区域だが、ほとんどが調整区域で企業誘致がなかなかできない状態になっている。土地利用をどうやっていくのか。総合まちづくり計画の中で土地利用構想、R423沿いに企業を誘致していくと考えていくためにも、都市計画マスタープランを来年度から改定して、それを受けて土地利用について柔軟に対応していきたい。ただ一朝一夕にできるものではないが、そういうところから企業誘致に向けての条件整備を整えていこうと考えているところ。
- ・事務局に対して意見。資料1の基本目標1「若年層が選びやすい環境をつくる」の「(3) 快適で住みやすい環境の整備」。これは、基本目標4と重複しているが、中身を見ていると若年層だけではない。すべての層に必要なもの。基本目標1なら、もう少し取り組みを絞った方が良いと考えている。参考資料1の36・37ページ。シティプロモーションの移住促進だと施策9と11になるが、むしろ施策10「みんなが住み続けたくなる定住促進」に変えた方が良いのではないかと考えている。今後、公民連携も必要になってくる。財政状況厳しい中、町だけで全てできるわけではない。民間の力を借りながら事業を進めていく必要があり、このあたりに触れておいた方が良いと思う。

[会長]

- ・シティプロモーションは誰を対象に、何を目的にするのかが非常に重要。町外の若年層ではなく、町内の人と公民連携。そして中だけでは足りないのだから、外の住民とも連携をとういうことで良いのか。その方向性は書いておいた方が良いと感じた。施策9を選ぶのか10を選ぶのか意見をもらいたい。

[宇都宮委員]

- ・基本目標1の数値目標は20歳から39歳。基本目標2では0～14歳。そうすると、15歳～19歳に穴ができる。中高生の居場所がないから欲しいと聞くことがある。定期代が高いから、それを理由に転出する人が多い。それでも住み続けたいと思わせるような居場所づくりだったり、町に残っている人もいる。数名だが大学生と活動することもある。大学生たちは割と豊能町のことを好きでいてくれて、まちづくりや町おこしに積極的な人が多い。やっぱり居続けてもらえたら町のことを好きになる。だから中高生に対しての施策があれば良いと思う。

(2) 第1期・第2期総合戦略の数値目標達成状況について

(3) 第2期総合戦略のKPI項目設定について

①説明

(事務局)

- ・資料2、3により説明

②質疑・意見

[会長]

- ・ものづくりではPDCAが良いが、まちづくりでは公民連携など参加者を増やしていくことが大事。もっと町民の熱意を上げないといけないことを考えると、PDまでは同じだが、次は評価、アセスする。そして、アクションではなくレポートする、使うというのが大事。つまり町民に知らせることで参加者を増やしていくことが大事。PDCAだけで終わるのではもったいない。町民に知ってもらうことが大事で、そこに指標を使っていくことが大事。
- ・何が言いたいかという、第1期総合戦略の数値目標はほとんどが未達。未達だから頑張っていこうというのは正しいが、これは自分たちで何か改善していかないといけないと思える自己高揚感の高い人に向けたもの。一般的には人は、困難にあたると怖くて逃避するもの。未達の状況を見たときにどう思うのかという、頑張ろうではなく、もう豊能町は駄目だと思ってしまう。
- ・数値目標を評価だけに使うのなら良いが、指標の作り方として、事業の展開をちゃんとしていきますと言うのなら、すこし厳しめの目標が良いが、町民に見せるのなら達成できるような目標値まで緩めでも良いのではないかと考えている。
- ・何のために計画を作るのかを考えたときに、交付金をもらうために義務的にやるというのはつまらないので、やる意味を持たせるのなら、そういうところの意図が極めて大事だと思う。住民に見せるものなのか、事業の管理用に使うものなのかで、向かう方向が違う。

[山田委員]

- ・使い方に対する意見だが、まちづくりと言うのは住民一人一人の熱量が違う。やりたい人のコミュニティの凝縮性が高まって、やっていない人がさらにおいていかれるのが特徴。それを考えると、緩めの数値設定にするのがいいと思う。まちづくりは、頑張れば頑張るほど、本気になればなる人がいてるほど、後の方が残されていって、足を引っ張る側に回ることもある。あまりガツガツするのではなく、みんなに分かりやすいもの。怖がらせずにというところが落としどころには良いのではないかと。

[谷川委員]

- ・まさに今言われたように、地域で何かしようとする、ドリームキラーが絶対に出てくる。年寄りや寛容になれない人をいかにどうするか。熱量はあるけど、その牙城をどう崩すのが難しい。そこで、行政の力が必要だと思う。地域の人に、そんなものいらないと言われると、もうそれで終わってしまう話が多い。

[宇都宮委員]

- ・5年前のシティプロモーションが始まった時から関わっているが、基本目標の1～4まで見ると、あのことかとか感じる。ちゃんと汲み取ってもらっているんだと。ぜひ町民に見せてほしい。亀のような歩みでも、ちゃんと積みあがってきているだと言うことが分かると良い。すぐやっすぐ止めるという印象をよく聞くので、せっかくなので見せてほしい。
- ・基本目標4の豊能町アプリのダウンロードについてサポートさせてもらっているが、「全町民が利用することを目指す」というのはやめた方が良い。スマホ持っていないとできない。目標は緩めに設定した方が良い。

[長澤委員]

- ・基本目標3(1)で沿道に新規出店した店舗数を目標にしているが、店舗に限らず事業所の数にした方が、広くとれると思う。農業関係の事業所とかができる可能性もある。

[小林委員]

- ・まち全体のうねりを作ろうと思ったら、町の実態をつかんで、町に興味をもってもらうことが大切なので、KPIの数値を緩くするのは良いと思う。

[川村委員]

- ・行政の立場なので、計画を作ってPDCAを回すとなると、いかに進行管理をキッチリするかという事で高い目標を設定するのが習わしだったが、意見をいただいて目からうろこではないが、町民の方に見ていただくという必要は当然あると思う。目標値やKPIの設定値について、事務局と協議して、分かりやすい達成できる項目・数値で考えていきたい。

[山口委員]

- ・数値を掲げると、6割7割で満足する人や、半分達成できれば満足する人などバラバラになるところではある。一つ一つの目標を下げるのは良いが、本当はここまでやっていかないと町が傾いてしまうという、怖がらせるようなものも必要だと思う。

[会長]

- ・メリハリをつけろというご意見。確かにその通り。数字は進行管理上大事だが、住民を巻き込んでいくのには、ナラティブが大事。いわゆる物語。人が町に関わっていくという物語を載せていく。なぜ、これが起こっているのか。こういう関わりがあって、こういう人たちがいて、なかなか数字には出てこない物語を聞いてもらうことで人の参加を変えていく。事業を回す意味でのPDCAではなく、町民に見せていくなら、まちづくりに関わってくれている人が、何をして、こういう風になっているのかというストーリーがあっても良い。それがないと面白くなくて、町民も読まない。そんなことも思っていた。

〔山田委員〕

- ・規則には部会の設置がある。なかなか苦慮されているのが伝わるが、最近は部会はされていないのか。1期目のときは部会をしていたが。

〔会長〕

- ・部会設置しても良いのではないかとのご意見だが、正直言って年度末に近づいて役場的には大変な時期で、しかも7月までに作らないといけないが、部会で意見を出してもらうのも重要なこと。また検討を。

○午後4時14分閉会

本議事録にかかる会長の内容確認・署名

本議事録について議事内容と相違ないことを確認する。

豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会会長

会長署名